

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アスラボさばえ
------	---------

公表日 2026年 1月 16日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			限られたスペースの中で利用者の特性に合わせて集中できるように机等の配置に気をつけている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関までは階段だが、内部はワンフロアとなっており、段差等ない仕様になっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		関係機関や外部の方の見学を積極的に受け入れていき、業務について見直せる機会を設けていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児発管とコーディネーターが意見交換を行いより専門性の高い支援計画となるよう努めている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			保護者様からご提供いただいた検査結果を活用すると共に、支援アセスメントツールも活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員で意見を出し合い協力して行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			全職員が交代で行っている。 集団プログラムを職員が持ち回りで立案している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時に支援内容、利用者の情報共有を必ず行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼時に支援内容の振り返りと、利用者の情報共有を必ず行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人ごとに支援内容と振り返りをまとめたファイルを作成している。また、連絡帳アプリにも記録をしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者様から情報を得ている。また、必要に応じて学校と連携を図っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	対象のお子様の受け入れは行っていない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援員より情報を得ている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		対象となる利用者がいない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	現在のところ交流は行えていない。	今後検討を行っていく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			コアメンバーとして参加し、積極的に地域の関係機関と連携を図っている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に情報交換の時間を持っている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレントとレーニンの必要性がある場合は行っていたが現在は必要性がないため行っていない。ただし、自宅で取り組める支援内用については保護者の方に説明を行い、取り組み方を伝えている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今年度に関してはまだ行っていないが、開催を予定している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			連絡帳アプリのHUGを使い、行事予定や活動をお伝えしている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		施設のスペース等の関係から地域の方を招いての事業運営は難しい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーの確認は行っているが、食事やおやつを提供行っていない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			過去に起きたヒヤリハットについては記録として残しており、定期的に情報共有を行っている。	